

# Producing SUSTAINABLY

生産における持続的発展

2020年までに工場や流通センターの  
二酸化炭素排出量、水消費量、  
廃棄物発生量など環境への負荷を  
2005年比で60%削減



# Producing SUSTAINABLY

持続可能な工場

## CO<sub>2</sub>排出量、水消費量の削減目標を達成

ロリアルでは、生産活動で排出するCO<sub>2</sub>排出量、水消費量および産業廃棄物量を、2020年までに2005年対比で60%削減すること、そして埋め立てゴミをなくすことを、持続可能な生産を達成するためのグループ全体の目標としています。

静岡県御殿場市に位置するコスモロールは、アジア太平洋地域におけるロリアルグループの工場として唯一ラグジュアリー向け製品を生産しています。同工場では、燃焼効率に優れたボイラーの導入や蒸気滅菌の活用など、環境負荷の削減活動に早くから取り組んでおり、2015年末、グローバル目標に先がけてCO<sub>2</sub>排出量および水消費量の60%削減を達成しました。埋め立てゴミゼロも早期に実現しています。

また、ロリアルグループでは、廃棄物による環境負荷を低減するための取り組みとして、①そのままの形での再利用、②形を変えて再生、③焼却処理の際発生するエネルギーを電気または熱への変換の3つを推進しています。グループでは、2020年までに全世界で3項目合計で100%達成を目指していますが、コスモロールはこの目標も達成しており、さらに①、②の比率を高めるべく、木製パレットや段ボール箱の再利用、金属、プラスチック、ガラス廃棄物の再生など、積極的かつ継続的に環境負荷の削減を進めています。

### 国際認証、環境への取り組み

コスモロールは、2005年に環境マネジメントシステムのISO14001を取得しています。

2010年からはグリーン電力証書システムに参加し、工場の生産活動に使用する電力を100%自然エネルギーでまかなっています。また、2016年にはグリーン電力を日本ロリアル本社、研究所にも展開し、すべての電力を宮城県石巻市の石巻合板工業株式会社のバイオマス発電所から供給されています(P9)。



### ロリアル グローバルの目標



環境負荷を低減するための3つの取り組み

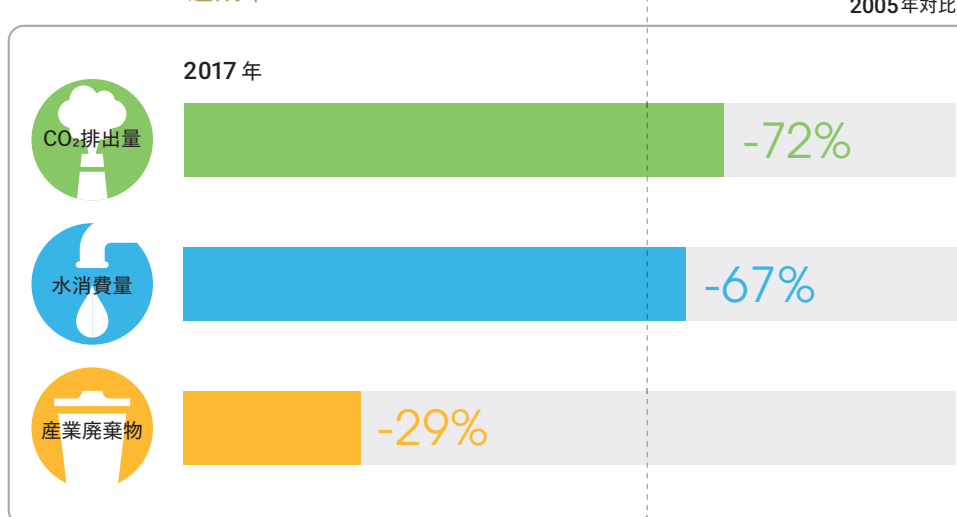
そのまま  
再利用

形を変えて  
再生

エネルギー  
変換

コスモロールは  
100% 達成

### コスモロールの達成率





# Producing SUSTAINABLY

グリーン電力

## 国内化粧品業界で最大規模 グリーン電力へ切り替え

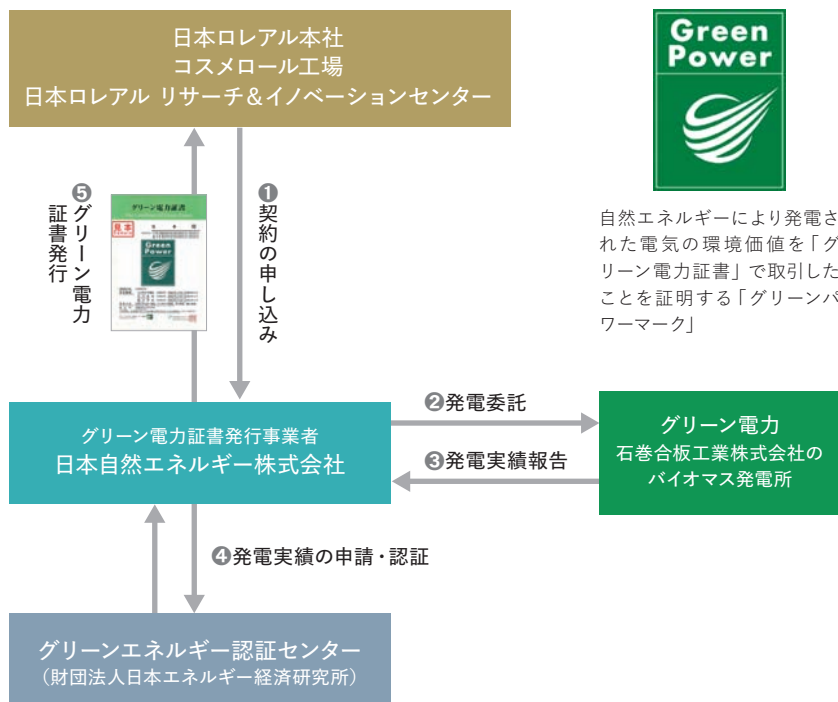
2016年9月より、日本ロレアル本社、コスメロール工場、日本ロレアル リサーチ&イノベーションセンターで使用する年間消費電力にあたる合計600万キロワットを、グリーン電力へ切り替えました。

この取り組みのために利用したのが「グリーン電力証書」です。自然エネルギーによって発電された電気の環境付加価値を証書という形で取引するもので、発電設備を持たなくてもグリーン電力を利用したとみなされます（※詳しい仕組みはページ下の図を参照）。

600万キロワットのグリーン電力は、宮城県石巻市の石巻合板工業株式会社のバイオマス発電所が発電しています。ここでは国内で最も多い200種類以上の合板を生産しています。合板とは、原木を2～3ミリ程度に薄く削いで積み重ね、貼り合わせた木材で、住宅・建物・家具などに使われています。原木を削ぐ際に発生する廃材チップと原木の皮が、発電ボイラーの燃料となっています。

今回のグリーン電力への切り替えは、日本国内の化粧品業界としては最大規模の取り組みです。

日本ロレアルは、2011年の東日本大震災で甚大な被害を受けた石巻市の復興支援を、地域再生や女性の自立支援などさまざまな取り組みを通じて行っています。今後もさらに長期的視野に立ち、石巻市への支援を継続していきます。



### 「生産における持続的発展」 スローガンを共有

石巻合板工業株式会社  
代表取締役社長  
野田 四郎さん



当社は1998年に端材、チップ、皮などを木質燃料とするエネルギー効率の高い発電ボイラー設備を導入しました。その後、グリーン電力証書制度が始まったのを機に認定を取得し、環境価値を第三者様に譲渡しています。東日本大震災以降、社員一丸となって復旧・復興を目指し取り組んできた結果、現在は震災前以上の生産設備体制になり、御社に安定した電力量の供給を提供してまいりたいと思います。御社の「生産における持続的発展」スローガンを共有し、地域の植林再生事業基金にも積極的に参加するなど、地球環境保護にも繋がればと考えております。



石巻合板工業株式会社(宮城県石巻市)のバイオマス発電所

1.  
丸太



2.  
削いだ丸太の皮



3.  
建築材  
(途中工程)



# Producing SUSTAINABLY

資源の無駄をなくす

## 部門横断の取り組み 「モッタイナイプロジェクト」推進

日本ロレアルの部門横断の取り組みとして、2017年から新たに「モッタイナイプロジェクト」を推進しています。これは今やグローバルな価値観となった「モッタイナイ精神」のもと、さらに効率的な流通体制を確立し、付加価値のあるサービスをお客様に提供するとともに、環境への負荷を低減しビジネス成長にもつながる再投資を行うといった好循環を実現する取り組みです。

サプライチェーン、営業、マーケティング、ファイナンスなどの各部門と協働し、店頭ディスプレイのコンパクト化による資材を削減し、倉庫から店頭におけるトラックの運搬時のCO<sub>2</sub>の削減を可能にしています。2017年は資材などの廃棄物量を42%削減することを目標に掲げています。

### 梱包サイズを47%コンパクトに。環境に優しい「スマートPOS」

「モッタイナイプロジェクト」内のPOSプロジェクトでは、関連部署が協力して店頭プロモーション用のディスプレイ制作業務の効率化を推進しています。

具体的には、①ディスプレイの梱包サイズをコンパクトにし、原材料と梱包資材、配送を削減、②共通資材の集約購入によるコスト削減に取り組みます。2017年からはディスプレイの標準化で原材料と梱包資材を削減し、梱包サイズを従来比で47%コンパクトにしました。これによりディスプレイ制作会社から倉庫、倉庫から店頭に至るまでの配送台数を削減し、配送時全体のCO<sub>2</sub>の50%削減を実現します。今後は、さらに取引先で各々実施しているアSEMBリー業務を集約し、ディスプレイの配送・製品の移動回数を削減していきます。

Before



After



## お客様の選択肢を広げながら 使用済み容器の量も削減

シュウ ウエムラは、日本の美容界のパイオニアとして知られる伝説のメイクアップアーティスト、植村 秀によって創業されたブランドです。美容の世界で常に革新的なアイデアを発表してきた植村 秀は、環境への配慮も製品開発に積極的に取り組んでいました。90年代に発表したクレンジングオイルは外箱に糊を使用せず、口紅は中身の詰め替えが可能なパッケージを取り入れました。

2011年には簡単かつ自由に好きな色をパレットにセットできる100種類のアイシャドーと、糊、磁石、粘着テープを排除した環境に配慮したカスタムケースを発売しました。リキッドアイライナー、アイブローペンシルについても詰め替え可能製品を発売しています。

お客様に好きな色を選ぶ楽しさや自由にカスタマイズできる選択肢の幅を広げることで、シュウ ウエムラの提唱する“個性美”を実現しています。



リキッドアイライナー  
“カリグラフィック アイライナー-N.” (左)  
アイブローペンシル  
“ブロー スウォード” (右)  
いずれも詰め替えが可能

環境に配慮したメイクアップパレット